

平成28年度第2回図書館協議会（議事録要旨）

日時 平成29年3月15日(水)

午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席者 近藤、橋本、長山、柴田、宮坂、鈴木、小柳津委員、事務局

議 題

- (1) 平成29年度図書館事業計画（案）について
- (2) その他
 1. 教育委員会の活動の点検及び評価の結果に関する報告書について
 2. 寄付金による本の購入について
 3. リライトカードの更新について

質疑・応答

議題（1）平成29年度図書館事業計画案について

委 員：「読書手帳」は小学校に配布されるのですか。実施方法は？

事務局：手帳はA3の用紙に切り込みを入れて折りたたんだ簡素なもので、図書館で借りた本の日付、タイトル、ひとことが書けます。20冊記入できたらのおながくんの「がんばったねスタンプ」を押します。小学校には配布はせず、図書館の利用者に配布する予定です。予算がないので表紙もカラーでなくモロクロでのおながくんを入れて、自分で色を塗り、二度楽しめるようにします。表紙は5種類用意していろんなおながくんを集めたくるようにしたいと思っています。翌年の夏休み頃には100冊読める子も多くなっていると思いますので、夏休みに5冊をまとめて製本できるようなこともやれたらと思っています。100冊読めたときはおながくんのシールと交換できます。これを45周年記念事業の図書館の目玉とし、図書館フェアに合わせてスタートします。昨年も今年も手作りを基本にやっています。機械で読書通帳に印字したりできる図書館もありますが、私たちは手作りで暖かい図書館を目指しています。PRも大切だし、みなさんの意見も聞きながら進めたいと思っています。

委 員：読書手帳の対象はどうですか。

事務局：子どもだけでなく大人も参加できます。交換商品はシールだけでなく昨年

のしおりも利用し、どちらか選べるようにします。

委員：文字がかけない小さなお子さんはどうしますか。

事務局：お母さんが代わりに書いても大丈夫です。

委員：こどもはシールを貼るのが好きだから手帳にシールを貼るのはどうですか。

事務局：シールはコストがかかるので考えていません。字を書く練習になることをアピールし、上手く書けなくても自分で記録することを学ぶきっかけにもなります。図書館へ来ていただく、本を借りていただくことが目的なので、そのきっかけになれば良いと考えています。

委員：手作りというのが良い。今は何でも与えられたものでやっていくことが多い時代なので、自分で色を塗ったり、製本したりするのは時代に逆行しているかもしれないが大事なこともかもしれません。お金をかければいいというものでもないと思います。

委員：子どもたちにはどのような方法でPRしますか？

事務局：ちらし、ポスターや広報・HPを媒体としたPRになりますが、図書館を利用する方に直接窓口でPRしていきます。

委員：CCネットもいいのではないのでしょうか。

事務局：ちゃれんじBOOKも窓口でのPRに力を入れました。対面で利用者に直接PRするのが一番効果的と考えています。

委員：読み聞かせボランティアをやっているものとして、おはなし会の会場でボランティアを通してPRするのもいいと思います。

事務局：会場でPRしてもらえるのはありがたいと思います。また、児童館・保育園へは館報を配布していますのでその中でPRしたい。

委員：雑誌スポンサーが今年度増えましたか？

事務局：残念ながら29年度のスポンサーは13社、1冊減でスタートします。

委員：以前、商工会の会議に出向いてPRすると言っていましたがどですか。

事務局：実施しましたが、効果はありませんでした。私たちの努力も足りないが、会社は雑誌の裏表紙にチラシをつけることがどれだけCM効果があるかと考えるので、なかなか厳しい。結局、個別にお願いしないと無理なようです。

委員：世界の絵本は英語圏ですか？

委員：アジア、ヨーロッパなどいろんな国の言語で読み聞かせをします。図書館にある本と他で借りてきた本もあります。今年は13ヶ国語やりました。

事務局：前年は187人で今年は210人の参加があり、大盛況でした。図書館と

国際交流協会の共催ですが、ほとんど国際交流協会で行ってもらっています。

委員：桜花学園の学生さんや読み聞かせボランティアの方たちに協力してもらっています。読み手も楽しんでいるようですし、経験が財産になります。読み手となった外国人の方もただ働きに来て帰るだけでなく、このように日本人と交流したことが思い出になるし、自信になるし、いいお土産になります。きっかけは図書館事業ですが、その先には地域交流とか国際交流があり、とてもいい事業だと自負しています。

委員：昨年、新システムでメール受信機能を追加したときいたが、その機能はどれくらい機能しているのか

事務局：システムが新しくなってできるようになったことは、利用者自身がHPでパスワード登録をできるようになったり、予約したときに予約完了が自動的にメールでお知らせする。予約の順番を待っているとき前の人返却すると翌日に職員がメールでお知らせするが、リアルタイムで割り当てられたことが自分で確認できたり、情報が早く発信できるようになりました。また、自分が次に読みたい本をメモできたり、自分の読みたいジャンルの本のキーワードを登録しておくでと新刊案内をメールでお知らせしてくれる機能も追加されています。

委員：その機能を利用している人は多いですか

事務局：各機能の利用件数は把握していませんが、WEB予約は前年4,662件で今年度は2月末で4,632件、一月平均400件以上あるので28年実績は前年度を上回る見込みです。

委員：窓口の業務委託の件はどうなりましたか

事務局：職員の適正化計画に基づき、非常勤職員の雇用期間が5年と限定されていたので、窓口委託を検討していましたが、評価制度に基づき、1年毎に契約を更新していく方針に変わりました。今の状態がコスト的にも良いということで今までどおり直営で行っていく方針です。

議題（2）その他

1. 教育委員会の活動の点検及び評価の結果に関する報告書について
2. 寄付金による本の購入について
3. リライトカードの更新について

委員：寄付については広報とかでお知らせしますか

事務局：その方は毎年、どこかの課に匿名希望で寄付している方で、今まで特に公表していません。もしその方がなくなられたときは市として公表するのではないかと思います。図書館としては5月のおすすめコーナーに寄付していただいたお金で購入した本を展示貸出し、その場で寄付していただいたことをお知らせする予定です。館報やHPでもお知らせしたいと思っています。